

# - ハッ場反対 9 団体集結 -

霞が関デモ「科学者の会」は要望書



ハッ場ダム建設再開に抗議しようと、建設に反対する9団体が集結し、17日、東京・霞が関の国土交通省前や衆院議員会館などでデモ活動や抗議集会を行った。そのうち、「ダム検証のあり方を問う科学者の会」は、野田首相と前田国交相宛てに要望書を提出した。

参加したのは、「ハッ場ダムをストップさせる市民連絡会」(東京都)、「ハッ場あしたの会」(前橋市)など。国交省前には約150人が集まり、「ダムに使う金を東北に回せ」

国交省前で「ハッ場ダム建設反対」など声を上げる市民団体のメンバーら  
(17日午後、東京・霞ヶ関で)

「科学者の会」が提出した要望書では、流域住民の意見を踏まえた民主的な手続きで有識者会議の委員を選ぶことなどを盛り込み、大学教授ら126人も賛同者として名を連ねた。代表の今本博健・京大名誉教授(河川工学)らは提出後に記者会見を開き、ダム建設継続が妥当とした国交省の再検証結果を了承した有識者会議に対し、「単なる追認機関になっている」などと批判した。

衆院議員会館で約300人が集まった抗議集会では、民主党政権で内閣官房参与を務めた五十嵐敬喜・法大教授(公共事業論)らが講演し、マニフェスト違反などと民主党政権を非難。同党に離党届を提出した中島政希衆院議員や社民党の福島党首らも駆け付け、中島議員は「民主党政権は志を失った」などとあいさつした。

(2012年1月18日 読売新聞)